

手術部

1 構成員

	平成22年3月31日現在	
教授	0人	
准教授	1人	
講師（うち病院籍）	0人	（ 0人）
助教（うち病院籍）	2人	（ 2人）
助手（うち病院籍）	0人	（ 0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人	
医員	0人	
研修医	0人	
特任研究員	0人	
大学院学生（うち他講座から）	0人	（ 0人）
研究生	0人	
外国人客員研究員	0人	
技術職員（教務職員を含む）	0人	
その他（技術補佐員等）	0人	
合 計	3人	

2 教員の異動状況

白石 義人（准教授，部長）（H15. 07. 01～H19. 3. 31助教；H19. 4. 1～現職）

森田 耕司（助教）（S53. 4. 16～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）

秋永智永子（助教）（H18. 10. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成21年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5編	（ 4編）
そのインパクトファクターの合計	2.59	
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	4編	（ 4編）
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2編	（ 2編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2編	（ 1編）
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人, 森田潔, 中尾三和子, 上園晶一, 中馬理一郎, 古家 仁: 吸入麻酔薬による全身麻酔中の局所への血管収縮約 (エピネフリン) の使用状況ならびに偶発症発生に関する緊急アンケートの報告. 麻酔 58(3): 378-383, 2009
2. 白石義人: 神経筋接合部に影響する薬物とモニタリング. 臨床麻酔学会誌 29(1): 15-22, 2009
3. 秋永智永子, 谷口美づき, 白石義人, 佐藤重仁: 妊娠中の非産科手術の麻酔: 妊婦が脳血管障害を発症したら 麻酔 59(3): 328-337, 2010
4. 白石義人, 中川智永子, 森田耕司, 古橋玲子: 看護師の業務量調査から見た手術室の効率的運用 手術医学 30(2): 155-158, 2009

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Kurita T, Takata K, Morita K, Morishima Y, Uraika M, Katoh T, Sato S: The Influence of Hemorrhagic Shock on the Electroencephalographic and Immobilizing Effects of Propofol in a Swine Model, Anesthesia and Analgesia 109: 398-404, 2009

インパクトファクターの小計 [2.59]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人: 医薬品ガイドラインの意義—添付文書における矛盾点の改善を目指して— 麻酔 58S: 96-100, 2009
2. 白石義人: 神経筋接合部に影響する薬物とモニタリング. 臨床麻酔学会誌 29(1): 15-22, 2009
3. 中川智永子, 谷口美づき, 岡田尚子 ヘパリンを投与している患者の緊急帝王切開術の麻酔 LISA 16巻: 348-352, 2009
4. 秋永智永子, 谷口美づき, 白石義人, 佐藤重仁 妊娠中の非産科手術の麻酔: 妊婦が脳血管障害を発症したら 麻酔 59巻: 328-337, 2010

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森田耕司, 2.15ラマン散乱法、酸素ダイナミクス研究会 (編集), からだと酸素の事典 (初版), 朝倉書店, 東京, p134-135, 2009
2. 森田耕司, 第1章コンピュータの基礎, 日本医療機器学会MDIC認定委員会, MDIC標準テキスト 医療情報・標準化 (2009第2版), 日本医療機器学会、東京、p23-35, 2009

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Nakagawa C, Shiraishi Y, Sato S. A case of conversion disorder showing transient hemiple-

gia after general anesthesia. J Anesthesia published on line first on 10 march 2010

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 小島康裕, 山口昌一, 谷口美づき, 中島芳樹, 白石義人, 佐藤重仁: 1年8カ月後にリードが体外に露出した硬膜外脊髄刺激電極留置の1症例, ペインクリニック 30(8): 1141-1144, 2009

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成21年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成21年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	1件
(2) シンポジウム発表数	0件	5件
(3) 学会座長回数	0件	6件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	10件
(6) 一般演題発表数	3件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

口頭発表

1. Kawashima Y, Shiraishi Y, Sato S: Does the Pleth Variability Index correlate with Stroke Volume Variation? Euroanaesthesia 2009; 2009. 06. 06-09. Milan, Italy
2. Kato H, Suzuki A, Shiraishi Y, Nakajima Y, Sato S: Visual stethoscope to detect tracheal tube position. International Anesthesia Research Society 2009 Annual Meeting; 2009. 03. 14-17. San Diego, CA, USA

3. Morita K, Shiraishi Y, Sato S, Sumiya K: Carbon coated two dimensional Laser beam barcode engraving on metal surgical tools showed better endurance against scratching lesions. 20th Annual Meeting of ESCTAIC; 2009. 9. 23-26, Berlin, Germany

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 白石義人：B06 招請講演 6 医薬品ガイドラインの意義（添付文書の矛盾点の改善を目指して）日本麻酔科学会第56回学術集会，2009. 08. 16-18

3) シンポジウム発表

1. 白石義人：S05 シンポジウム5 S05-02 多機能パルスオキシメータは周術期管理をかえるのか，日本麻酔科学会第56回学術集会，2009年 8 月16-18日
2. 白石義人，御室総一郎：教育セミナー（3）：パルスフォトメトリーの発展（PVIを中心に）日本臨床麻酔学会第29回大会，2009年10月29-30日
3. 秋永智永子：シンポジウム 進歩し続ける産科麻酔－専門医試験過去問を通して－「帝王切開術の麻酔－新しい知識をもって再考する－」，日本麻酔学会第56回学術集会，2009年 5 月24日，神戸市
4. 秋永智永子：高安合併妊婦3症例の分娩と麻酔，第113回日本産科麻酔学会，2009年12月12日，横浜市
5. 森田耕司：シミュレータ教育の現状評価と将来，日本臨床麻酔学会代29回大会，2009年10月29日，浜松市

4) 座長をした学会名

1. 白石義人：ランチョンセミナー「レミフェンタニル時代におけるセボフルランの役割」森本康裕(宇部興産中央病院)日本麻酔科学会東海・北陸支部第7回学術集会，2009年 9 月 5 日
2. 白石義人：一般演題（ポスター）：癌性疼痛（6）日本ペインクリニック学会第43回大会，2009年 7 月16-18日
3. 白石義人：P2-35 薬理学・筋弛緩薬 3 日本麻酔科学会第56回学術集会、2009年 8 月16-18日
4. 森田耕司：（ワークショップ企画・実施責任者）高機能患者シミュレータワークショップ，日本臨床麻酔学会第29回大会，2009年10月30日，浜松市
5. 森田耕司：（ワークショップ企画・実施責任者）シミュレーションカフェ（オープンワークショップ），日本臨床麻酔学会第29回大会，2009年10月30日，浜松市
6. 森田耕司：（インストラクター）高機能患者シミュレータ（HPS）ワークショップ（周術期の緊急事態に対処しよう），日本麻酔科学会第56回学術集会，2009年 8 月16-18日，神戸市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 白石義人：日本麻酔学会 代議員，安全管理委員会（委員，WG長），東海・北陸地方会代

議員

2. 白石義人：日本臨床麻酔学会 評議員
3. 白石義人：日本ペインクリニック学会 評議員
4. 白石義人：日本集中治療医学会 代議員
5. 白石義人：日本蘇生学会 評議員
6. 白石義人：日本臨床モニター学会 評議員
7. 森田耕司：日本麻酔・集中治療テクノロジー学会評議員
8. 森田耕司：日本静脈麻酔学会評議員
9. 森田耕司：日本医学シミュレーション学会評議員
10. 森田耕司：日本医学シミュレーション学会 高機能患者シミュレータ代表世話人

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成21年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成21年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 森田耕司：大量出血時におけるプロポフォル（静脈麻酔薬）麻酔時の位相相関（バイスペクトラル）インデックス（BIS）ならびに95%スペクトラルエッジ周波数（SF95）の推移を薬物動態モデルならびに薬効力学的モデルから解析した。また大量出血時における体動とBIS、SF95の関連をロジスチック解析にて明確化した（原著論文1編において）

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 白石義人，秋永智永子，森田耕司：高校生プログラム 医療の現場を知る，静岡県内の高校生を対象とし，医師不足が深刻な麻酔科，小児科，産婦人科，救急部の現役医師からのレクチャー，手術部内見学と高機能シミュレーター体験，現役麻酔科医師との質疑応答を通して，医学部進学（特に浜松医科大学）の動機付けを行う，浜松医科大学附属病院，2009年8月31日，2009年12月24日，2010年3月25日，午前9時30分より午後3時まで
2. 森田耕司：日本麻酔科学会学術集会ならびに日本臨床麻酔学会大会，医学シミュレーション学

会において、臨界危機的状況に置ける患者管理の訓練を目的に高機能患者シミュレータを使用したセミナーを代表責任者、インストラクター、シンポジストとして活動した。